

日本起源の 謎を解く

天照大神は

卑弥呼ではない

山本健造 著



日本史学界の泰斗樋口清之博士より手紙戴く
『大快著となりました。従来の卑弥呼説は全部独断
「神代文字諸文献を科学する」の章は従来の俗説を正す意味で、
本書によってのみ正確に事実を後世に伝える重要
な文献として、保存すべきと考えられる』（一部抜粋）

一 卑弥呼は誰か、諸説紛々……………35

二 邪馬臺国は飛騨より大和と九州、津軽を結ぶ……………39

1 青森県津軽に邪馬臺城あり……………39

2 津田左右吉氏の詭弁にのせられた日本の史学界……………42

3 皇紀六六〇年のずれを認めても神武は実在する……………44

4 神武天皇（サヌ命）より九代の天皇否定の根拠なし……………45

5 飛騨の伝承より考える……………45

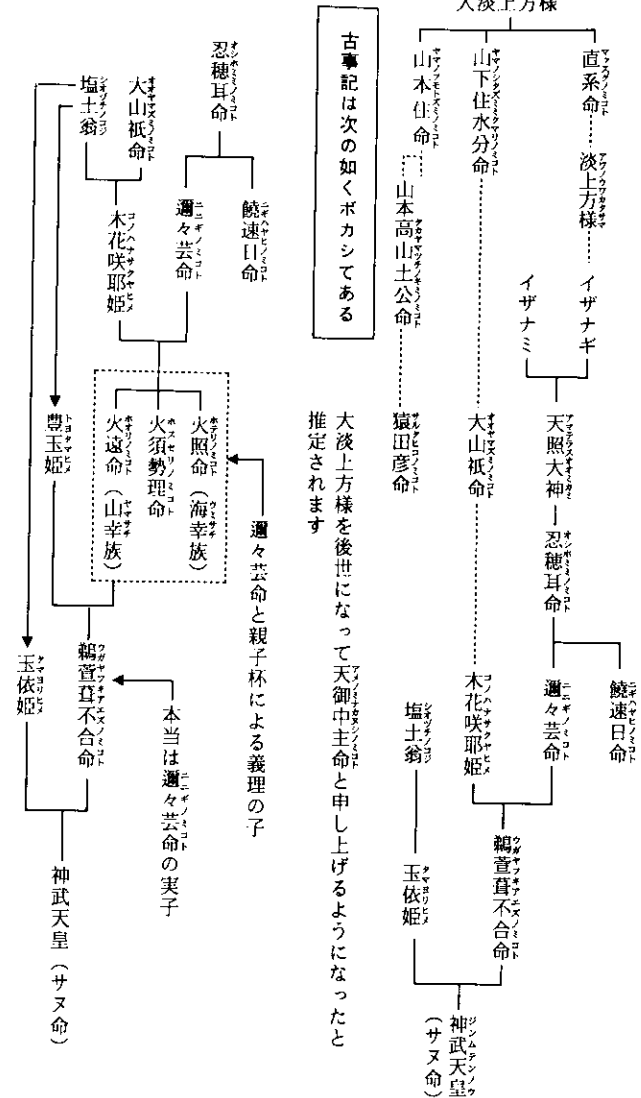
6 出雲の「国譲り」は政略結婚のもつれ……………46

目次

日本史学界の巨星 樋口清之博士の本書への御意見

序文

竊查葺不合命の系図



真実と推定される系図

三

近畿、津軽、九州に邪馬臺国あり

- 23 生存中の末子相統の平均在位年数と
天照大神（ヒルメムチ）の推定……………68
- 24 九州の卑弥呼は天照大神（ヒルメムチ）の子孫である……………69
- 25 歴代天皇在位年数より天照大神と卑弥呼時代推定表……………70
- 26 宋、齊に使を送った五王は大和朝廷である……………71
- 27 神武天皇の古墳は墳丘程度のもの……………72
- 28 三世紀の大古墳の中に神武天皇のものなし……………72
- 1 東北津軽半島の邪馬臺城……………75
- 2 神武以前に近畿にヤマト国があった……………75
- 3 邪馬台国は間違いで邪馬臺国が本当……………78
- 4 昔は八母音だった……………79
- 5 ヤマトの語源について……………80
- 6 奴、倭より大和、邪馬臺の名の起こり……………80
- 7 乘鞍麓の名家の口碑……………81

- 7 天孫降臨とは飛驒政権の山下りだった……………47
- 8 『古事記』の天安川原は飛驒にある……………48
- 9 九州の邪馬臺国の淵源について……………49
- 10 前一世紀頃の日本の実情……………51
- 11 一〜二世紀頃の日本はどうであったか……………51
- 12 三世紀頃、卑弥呼は君臨する……………52
- 13 九州にも近畿にもヤマト国はあった……………53
- 14 敗戦の虚無感に乗じた神武九代の抹殺論……………55
- 15 神武九代は多くの学者が抹殺しても厳然として実在した……………56
- 16 主観論で客観史料を否定する横着さ……………58
- 17 安本美典氏の勇気を讃う……………59
- 18 長男相統は儒教思想による……………59
- 19 天皇崩御、長男相統は平均在位年数は三十五年である……………61
- 20 天皇の平均在位年十年余が妥当する頃……………64
- 21 皇位平均十年説の妥当しない国柄と時代……………65
- 22 神武紀元（皇紀）の重要性……………67

四

24	飛驒匠 糠塚喜一郎氏の榮譽……………	96
25	原始的な大嘗祭……………	97
26	世界に唯一のエンペラーの日本天皇……………	99
27	終戦東京裁判の虚偽と「南京大虐殺」……………	100
28	隣国の反日教科書の恐ろしさ……………	100
1	飛驒に伝わる口碑では長髓彦は東北へ……………	102
2	飛驒の口碑は果して真実か？——調査の旅——……………	102
3	『日本書紀』より飛驒の口碑の方が本当だ……………	103
4	長髓彦兄弟の子孫は今も栄える……………	104
5	『東日流外三郡誌』の反逆思想……………	104
6	仁義に生きた不戦の日本古代の人々……………	105
7	長髓彦の先祖は飛驒にあり……………	106
8	皇統を継ぐ道徳は美しく守られた……………	106
9	長髓彦は偉大な義人であった……………	107
9	長髓彦は神武天皇を怨まなかった……………	109

8	飛驒宮村の国づくり……………	82
9	飛驒位山の皇祖岩と縁者の墳墓……………	83
10	飛驒政権の拡大と身内の献身的奉公……………	84
11	姉弟の子生みの契いと多紀理姫の嫁入り……………	85
12	多紀理姫の蒸発と若彦の反逆……………	86
13	飛驒の入口で若彦の葬式の泣き声天にとどく……………	87
14	飛驒路に残された遺跡と古川太江の高田神社……………	88
15	『古事記』の語部稗田阿禮は飛驒檜谷の人……………	89
16	天孫降臨と樗大神社……………	90
17	木花咲耶姫と鶺鴒葺不合命の誕生……………	91
18	豊前市舟継ぎ岩は今も残る……………	91
19	火遠命、火照命が邂逅々芸命に親子の杯……………	92
20	神武の帰還と東西のヤマト国……………	93
21	神武の大和入りと金鷄勲章のいわれ……………	93
22	長髓彦の子孫の忠誠……………	95
23	飛驒位山の笏木と飛驒町……………	95

10 長髓彦の子孫は元寇より国を守った……………110

五 『古事記』『日本書紀』より

- 1 飛驒の口碑の方が正しかった理由……………113
- 2 遍々芸命の子孫が皇統を継ぐことに決定されていた……………113
- 3 『日本書紀』は長髓彦をどう見ているか……………114
- 3 飛驒の口碑の正しかった理由……………115

六 長髓彦の気持ちに叛いた『東日流外三郡誌』の誤り

- 1 長髓彦の先祖は大山祇命である……………117
- 2 叛逆の家の掟……………118
- 3 長髓彦精神を忘れた『外三郡誌』……………119
- 4 『東日流外三郡誌』の最大の過誤……………120
- 5 長髓彦の武士道精神を讃う……………120
- 6 危険な爆弾を残して子孫を心配した人……………121

七 捏造された『外三郡誌』の叛逆精神

- 1 長髓彦は妹を仇敵の妻にする筈がない……………123
- 2 長髓彦は大三島の大山祇命の子孫でないか……………124
- 3 正史を逆転捏造した『外三郡誌』……………126
- 4 田村麻呂の真心を蹂躪した『外三郡誌』……………127
- 5 倭の五王を強引に東北に引き寄せた『外三郡誌』……………128
- 6 天皇位まで奪ったと語る『外三郡誌』……………129

八 荒覇吐精神と理想

- 1 「アラハバキ」の語の起り……………132
- 2 正当防衛精神に還れ……………133

九 日本の偽史を攘う——神代文字は本当にあったのか？——

- 1 日本古代文字はあったかも知れぬ……………136
- 2 平田篤胤は神代文字を偽作した……………137
- 3 平田篤胤とはどんな人か……………139

4 全国各地に広がる平田復古神道……………140

5 神代偽史を作る気運はなぜ起きたか……………142

6 国体の尊厳を穢す人々……………143

十

平田復古神道は明治維新を助け早めた……………145

1 烈婦山口不二子、松尾多勢子の念写……………145

2 松尾多勢子の明治維新への功績……………148

3 山口不二子の忠烈……………151

十一

神代文字諸文献を科学するに当りて……………156

1 天日文字の組立てについて……………156

2 果して外国の文字は神代文字の真似か……………158

3 神代文字文献の非現実性……………161

4 古代の絵文字について……………164

十二

竹内文献のあらまし……………166

1 『竹内文書』はどこから出たか……………166

2 『竹内文書』の受難……………167

3 竹内巨磨の語る出自……………167

4 世界人類は日本に発生したという『竹内文書』……………168

十三

神代文字は文献にどんなものがあるか……………170

神代文字文献のあらまし……………170

十四

『上つ記』とは何か……………173

1 『上記』はどこから出て来たか……………173

2 『上記』原本以外に添えた文字が問題である……………174

3 『上記』の内容は現実的で夫婦の房事の度数まで統制している……………176

4 『上記』には神道開き野心や中国思想がない……………177

5 『上記』には天孫降臨説がない……………178

6 『上記』の書かれた年代について……………179

十五

- 『秀真文書』のあらまし……………181
- 1 独創的な組み合わせ文字である……………181
- 2 六十年還暦の原理を日本のものとする……………182
- 3 天照大神を男神とした裏は何か……………183
- 4 天照大神を余りにも神秘化している……………184
- 5 『秀真伝』の非現実性に嗚然とする……………185
- 6 『秀真伝』文献の高天原は飛騨かも知れぬ、それを考えさせる石器……………187
- 7 日本の最高地飛騨の文化と土器の交易……………189

十六

- 日本語母音論争では神代文字の存否は俄かに結論は出しにくい……………191
- 1 神代文字の存否決断を迫る……………191
- 2 八母音説により神代文字は否定される……………192
- 3 母音論だけでは神代文字の真偽判定困難……………193
- 4 されど日本古代の絵文字はあった……………194
- 5 『古事記』の前に絵文字はあった……………194
- 6 稗田阿禮は絵文字で正史を綴った……………195

十七

- 7 大法螺の偽史は国体の尊厳を冒す……………196
- 神代文字はなくとも古代の絵文字はあった……………198
- 日本古代文字の実在を証明するサンカ文字……………198

十八

- 組み合わせ文字の流行の時代……………203
- 1 惟足文字……………203
- 2 種子文字……………204
- 3 筑紫文字……………205
- 4 アイヌ文字……………206
- 5 節ハカセの古字……………207
- 6 上津文字……………208
- 7 対馬文字……………209
- 8 齋部文字……………209
- 9 アナイチ数字……………210
- 10 モリツネ文字の数字……………210
- 11 出雲文字……………211
- 12 阿波文字……………211
- 13 天日文字……………212
- 14 天日草書体……………213

十九

- 『九鬼文書』と九鬼家の迷惑……………214
- 1 九鬼家の歴史……………214

2 『九鬼文書』の文字……………217

3 『九鬼文書』の内容について……………218

二十 日本古代社会は公平、仁愛で貫かれていた……………220

1 古代社会は公平であった、平等ではなかった……………220

2 義理人情の階級は封建制ではない、徳治社会である……………221

二十一 唯物平等主義は階級闘争と惨殺を産む……………223

1 平等と公平を混同する社会主義……………223

2 空想的社会主義はなぜ失敗したか……………224

3 科学的共産主義も失敗した……………225

4 共産制を行うための無数の惨殺死体……………226

5 唯物平等主義の陰惨性……………226

二十二 共産国を自滅させた労働価値論……………228

1 唯物平等の価値観の誤り……………228

2 基礎研究が遅れ生活科学技術が低下する国……………229

3 自国の歴史を罵る国民は亡ぶ……………230

23 諸科学者の独断的偽史を攘う……………233

生物進化の法則はどこも共通……………233

24 日本列島誕生と世界第一の暖流と台風……………239

1 日本列島はどのようにして生れたか……………239

2 日本では氷河時代でも生物進化が続いた……………240

3 純日本人が日本で進化を続けた……………241

4 世界各地に人類は発生した……………243

二十五 旧石器時代に大陸に出て行った日本文化……………245

1 日本産の黒曜石が大陸奥地の地下に！……………245

2 移入一点張りは著しい偏向……………247

	二六六	原日本人の存在についての確証……………	250
	1	原日本人には白血病患者ウイルスは無かった……………	250
	2	アイヌと宮古島住民の遺伝子……………	252
		①母系だけの遺伝を伝える遺伝子で人種がわかる……………	252
		②アイヌと宮古島に共通特異な遺伝子の発見……………	253
	3	原日本人を否定する学者達……………	254
	二七七	人類発生と言語について……………	256
	二七八	言語を心理学より分析する……………	258
	1	従来の言語学の方法は信憑性が薄い……………	258
	2	安本計量比較言語学から日本民族のルーツを探る……………	258
	3	果して北方民族が日本人になったのか？……………	259
	4	臆想民族と征服民族の言語比較について……………	259
	5	原日本語は諸国語を融合統一した……………	262
	二九九	言語より日本人のルーツを探る……………	264
	1	心理学的にもう一度考える……………	264
	2	果して朝鮮人が日本の王者になったのか……………	265
	3	大陸の人が日本の王者になったのか……………	267
	4	独特の古代文化を伝える皇室……………	268
	5	アイヌ語に南方の語順が組み入れられている……………	270
	6	アイヌ語の多くは原日本語である……………	272
	三十	日本海両岸の風俗共通性……………	277
	1	結婚の風習共通性について……………	277
	2	分家や血盟の契りの日本と大陸の共通性……………	278
	3	葬式儀礼の共通性……………	278
	4	心理的共通性について……………	279
	三十一	地球寒冷化と民族の移動を証明する石器……………	281
	1	天孫降臨の裏付けとなる気候の変化……………	281

三十三

偽史を攘って「本当の平和運動」を起こそう……

1 現行、亡国平和運動……

2 三十年後の第二のクウェートにならぬ為に……

3 大東亜戦争はなぜ起きたか！……

4 太平洋戦争はなぜ起きたか！……

5 動機的に正当防衛、部分的近視眼的に……

6 原爆投下とソ連参戦は非人道的である……
見れば侵略と誤解された……

① 広島原爆碑の愚かさ……

② 日本が降伏を申し込んで三カ月も放っておいて……
原爆を落としたトルーマン……

③ 東京裁判に洗脳された一部学者達の愚行……

7 私の体験した美しい魂に生きた記憶……

① 愛国と義理と友情に燃えた親子……

② 私の出征した時の思い出……

③ 武山海兵団の思い出……

310 309 308 308 307 306 306 306 305 303 302 300 299 299

三十二

何故伊勢神宮は伊勢に遷ったか……

1 伊勢神宮燈籠のユダヤ教紋章の謎……

2 あやしき光の大国主の魂……

3 出雲一色に塗り潰された奈良の都……

4 神武天皇の后にまつわる艶話……

5 忘れられた肇国の恩人天照大神（ヒルメムチ）……

6 天照大神（ヒルメムチ）を伊勢に遷した意味……

7 大和民族の古里高天原……

296 295 294 293 292 291 290 290 288 286 285 284 283

2 飛騨精神文化の暖地への降臨……

3 飛騨合掌造り大家族制の発達……

4 暖地集団移住を証明する御物石……

5 飛騨民族の集団移動の科学的考察……

6 飛騨政権と天孫降臨……

三十四

世界永久平和論を提唱する……

- 1 今のままなら世界から見捨てられる……
- 2 身を守る事を忘れた民族は必ず亡ぶ……
- 3 国防の歴史が建国以来独立を保った……
- 4 先祖が身を犠牲にして国を守ったから今日がある……
- 5 日本国憲法を改正せよ……
- 6 第二次大戦後、国際道徳できる……
- 7 人類史上はじめて……
- 8 世界の世論が強くなる……
- 9 世界永久平和論の綱領……

参考文献……

336
333 331 331 330 329 328 327 326 325 325

8

- ④ シドニーの四軍神都竹正雄君の魂は生きている……
- 日本の先祖を罵倒する子孫が育つ……

310
311 311

- ① 靖国の靈廟を罵る者が悲しい……

311

- ② 日本の正史を曲げる教科書を嘆く……

312

- ③ 平和ボケで国亡ぶ……

313

9

教科書の南京大虐殺はデッチ上げ……

314

- ① 某大新聞の虚報が火に油をそそぐ……

314

- ② 南京入城した時、鼠一匹居なかった……

315

- ③ 南京にいた海老沢氏の証言「大虐殺は嘘だ」……

315

- ④ 南京大虐殺の虚言！南京駐在米記者の証言……

316

- ⑤ 南京城外、二十万人に給食保護、感謝状をもらった日本軍……

317

- ⑥ 国際法無視の東京裁判……

317

- ⑦ 六十数カ国を独立させた日本！……

318

- ⑧ 日本国は徳治の国だった……

318

- ① 侵略もしない、侵略もさせない大和魂を子孫に伝えたい……

319

- ① 国際道徳のない頃の日本の立場……

319

10